

平成 2 9 年度以降の夏季一斉休業の取扱いについて（案）

平成 2 9 年

月

日

学 長 裁 定

教職員の心身のリフレッシュ、子育て支援、学内における省エネルギー等を推進するため、平成 2 9 年度からの夏季一斉休業を下記のとおり実施する。

記

1．実施期間

8 月 1 6 日及び勤務日 3 日間を含む一定期間
※平成 2 9 年度より 8 月 1 6 日は休日とする。

2．実施組織

全学

3．実施方法

期間中の勤務日について、特別休暇又は年次休暇の取得を促進する。
※有期雇用職員については、国立大学法人京都工芸繊維大学特任教員等の夏季特別休暇に関する要項（平成 2 0 年 3 月 3 1 日学長裁定）の定めるところによる。

4．学内、関係機関等への周知

大学ホームページへの掲載、各課等での掲示等を行うほか、必要に応じ関係機関（文部科学省、各国立大学等）に事前に通知を行う。

5．実施予定期間

8 月 1 6 日の曜日	夏季一斉休業の期間
日曜日	8 月 1 2 日（水）～1 6 日（日）
月曜日	8 月 1 2 日（木）～1 7 日（火）
火曜日	8 月 1 2 日（金）～1 7 日（水）
水曜日	8 月 1 2 日（土）～1 7 日（木）
木曜日	8 月 1 2 日（日）～1 6 日（木）
金曜日	8 月 1 2 日（月・振替休日）～1 8 日（日）
土曜日	8 月 1 3 日（水）～1 7 日（日）

※8 月 1 1 日は休日（山の日）であるが、オープンキャンパスを開催する可能性があるため、夏季一斉休業期間には含めていない。ただし、8 月 1 1 日にオープンキャンパスを開催しない年は、8 月 1 1 日を夏季一斉休業期間に含めるものとする。

《参考》

平成 2 9 年度 8 月 1 2 日（土）、1 3 日（日）、1 4 日（月）、1 5 日（火）、1 6 日（水）、1 7 日（木）

国立大学法人京都工芸繊維大学特任教員等の夏季特別休暇に関する要項

(学 長 裁 定)
(平成20年3月31日)

最終改正 平成28年5月10日

(趣旨)

第1 この要項は、国立大学法人京都工芸繊維大学特任教員等就業規則（平成17年3月10日制定）第27条第1項第8号、国立大学法人京都工芸繊維大学特任専門職就業規則（平成20年9月11日制定）第41条第1項第8号、国立大学法人京都工芸繊維大学短時間勤務非常勤職員就業規則（平成16年4月1日制定）第24条第1項第8号、国立大学法人京都工芸繊維大学期間雇用非常勤職員就業規則（平成23年3月31日制定）第26条第1項第8号、国立大学法人京都工芸繊維大学リサーチ・アドミニストレーター就業規則（平成28年3月3日制定）第31条第1項第8号及び国立大学法人京都工芸繊維大学特定教職員就業規則（平成28年3月3日制定）第31条第1項第8号の規定に基づき、これらの規則の適用を受ける職員（以下「特任教員等」という。）の夏季における心身の健康の維持及び増進又は家庭生活の充実のため必要と認められる場合の特別休暇（以下「夏季特別休暇」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(対象者)

第2 夏季特別休暇の対象となる特任教員等は、毎年度、学長が別に定める夏季休業の時期において、その時期のすべてに勤務を割り振らない日が置かれている者以外の者とする。

(時期)

第3 夏季特別休暇を付与する時期は、毎年度、学長が別に定める夏季休業の時期とする。ただし、業務の都合上、当該夏季休業の時期に夏季特別休暇を請求することができない特任教員等については、当該特任教員等ごとに学長が夏季特別休暇を付与する時期を定める。

(期間)

第4 夏季特別休暇の期間は、3日間とする。ただし、夏季特別休暇を付与する時期において、その時期に勤務を割り振る日の日数が1日であるときは1日間を、2日であるときは2日間をそれぞれ夏季特別休暇の期間とする。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成21年5月29日から実施する。

附 則

この要項は、平成23年6月2日から実施する。

附 則

この要項は、平成26年7月9日から実施する。

附 則

この要項は、平成28年5月10日から実施する。